

文起第750号 - 1
令和2年8月27日

(施設名) 米子市公会堂
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司 ㊟

令和元年度「米子市公会堂」指定管理者業務評価書

施設名	米子市公会堂
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人 米子市文化財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日(4年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

事業周知に努め、利用者数は開館60周年記念事業等が行われた平成30年度よりは下回ったが、今年度も様々な事業を企画し、実施したことは評価できる。特に、世界的なピアニストによるリサイタル、日本を代表するバレエ団による公演など、高度な文化に触れることができる事業を開催し、大勢の市民に楽しんでもらうため自主事業にも工夫が見られる点が評価できる。また、花壇の手入れや除草、剪定作業など行い、前庭の芝のサッチングや肥料散布を行うなど適切に管理し美観を保っている。小規模な修繕は職員が自前で行うなど経費の節減にも努めている点も評価できる。

【第三者評価】

① 施設について

○各種点検等、適切に行われていると思います。

○米子市公会堂はすでに改修工事が行われたが、部分的には建物部分や備品などに経年劣化はつきものである。令和元年度も細やかに対処・改善を進めていることがうかがえた。館内壁の補修や展示鉾の修繕など職員の作業によるコスト削減にも努力がうかがわれ、それに加え花壇の手入れや除草作業、全通の芝のサッチングや肥料散布など環境美化にも努力が感じられた。

○トイレや駐車場など利用者の苦情や要望に対して、適切な対応がなされている。

○広いホワイエは「虹の広場」など気軽に楽しめる企画が出来、市民に親しまれている。

② 管理について

○コロナウイルス対策等、利用者サービスについて適切に行われていると感じます。

○利用者サービスについても、PR活動として、大ホールのみならず、前庭・ホワイエ・集会室の利用も積極的に行われた。

- 外観の維持管理が行き届いている。
- ホワイエ、集会室、前庭の利用等が積極的に行われていることで、米子市民に身近なホールとして根付いていくことが期待できる。
- 新型コロナウイルス感染症が話題に上がるが、ホールの換気機能についての周知が行われたらよいと考えられる。
- 館内の修繕や花壇の手入れ、除草など職員の方で可能な限り自前で取り組むなど、工夫や努力委の様相が見られる。ボランティアロードの清掃活動を毎日継続されているとのこと。大変素晴らしい取り組みだと思う。
- ボランティアロードの清掃など、職員が美化・修繕に努めている。

③ 事業について

- 一昨年と比べることはできませんが、事業数で見るとしっかりした運営がなされたと感じます。
- 元年度も多くの質の良い事業が実施されていると感じられた。特に鑑賞事業として行われた東京バレエ団の「ドン・キホーテの夢」や「米子なつかしの名画劇場」の市川崑監督「東京オリンピック」、「MUGEN ∞能」などは他の参加者から、高評価を聞くことがあった。他にも「リチャード・クレイダーマン2019」や「春風亭昇太 米子独演会」など、多種にわたる事業内容は充実していたように感じられた。また参加型事業としての「NHK のど自慢 公開収録」も公民館等で楽しい話題となって盛り上がった。
- 話題性の高い事業、地元を大切にしたい事業、参加型の事業、アウトリーチ型の事業等、多岐にわたる事業内容が充実している。
- バレエ、能など魅力的なイベントを企画し、利用者も満足感を得るなど、充実していることがわかる。
- 多人数収容のホールである特徴を活かして、本格的な大規模事業が多く企画され、市民文化を広める役割を果たしている。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

良好な施設管理、PR活動等を継続するとともに、ホールの客席数や音響等の施設の特性を活かして催しの誘致活動を行い、多くの市民が利用できる環境を整えてほしい。

【第三者評価】

- 全体的に見ると、適切な運営であると思います。
- 今後も細やかな施設管理に努めてほしい。
- 駐車場が少ないのが何といても難点。やよいデパート撤去後のひまわり駐車場などが市役所の駐車場同様、カード無料化になれば、利用者としては大変ありがたいのであるが…。

令和元年度下期「米子市公会堂」モニタリング評価表〔令和2年8月〕

施設名	米子市公会堂	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	(一財)米子市文化財団
	所在地	米子市角盤町2丁目61番地
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	
選定方法	公—募・非公募	
施設の設置目的	市政30周年記念事業として昭和33年に建設された米子市公会堂は、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的としている。	
主な実施事業	鑑賞事業（優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供）年間3回程度 参加型事業（多数の市民が参加できる芸術文化の発表の機会提供）年間3回程度 教育普及事業（芸術文化に関する普及活動、情報提供）年間3回程度	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認（60点）			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	現地確認 人員配置は計画通りであり、災害マニュアル等を作成している。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 適宜研修が実施されている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料確認 ポスター、チラシの配布、報道機関への情報提供、テレビ、ラジオを使った広報の他、近隣駐車場と提携し1時間無料サービスを開始する等、利用促進を図っている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	資料確認 開館60周年記念イベントを行った昨年度よりは下回ったが、おおむね安定した入場者数であった。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 自主事業についてはアンケート用紙が配布され、要望等の実現策を検討していた。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	B	資料確認

	第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		適切に行なわれている。
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料確認 館内壁の補修や展示鉄の修繕など職員が自前で行うなど適切に行なわれている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	資料確認・現地確認 事業計画書通り事業は実施されている。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料確認 適切に行なわれている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	現地確認 大ホールのみならず、前庭、ホワイエ、集会室の活用について積極的なPRを行い、利用者確保に努めている。
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認 自主事業の際は、アンケートを配布、集計され、利用者の回答内容は概ね良好であった。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	現地確認・資料確認 花壇の手入れや除草、剪定作業など行い、前庭の芝のサッチングや肥料散布を行うなど適切に管理されている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	現地確認・資料確認 利用者に対する対応について適切に行なわれている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	現地確認・資料確認 パレエ、能など多岐なジャンルの事業を開催するなど内容が充実していた。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	現地確認 ホールだけでなくホワイエ、前庭等で多様な事業を行い、芸術文化の振興及び市民福祉の増進を図るといった設置目的に即した管理内容であった。
III サービスの安定性の評価 (15点)			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料確認 妥当である
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認 妥当である。

3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料確認 妥当である。
------------------	--------------------------	---	----------------

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>イベント開催を年間を通して行い、集客に努めている。</p> <p>県文化振興財団との共催事業を開催し、市民がバレー、能など高度な文化に触れる機会を提供した点について評価できる。市民交流事業など地元の特色を活かしたイベントについても評価したい。</p> <p>また、花壇の手入れや除草、剪定作業など行い、前庭の芝のサッチングや肥料散布を行うなど適切に管理し美観を保っている。小規模な修繕は職員が自前で行うなど経費の節減にも努めている点も評価できる。</p>	<p>合計点 (72) 点 / (100) 点 ×100 = (72)</p> <p>平均点 (3.6) 点</p>
---	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔平成31年4～令和2年3月〕 A	前年度〔平成30年4月～平成31年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	361	359	2、100.55 %	
施設利用者数	126,743	150,701	△23958、84.10 %	
施設稼働率	100%	100%	0、100.00 %	
事業開催数	22	23	△1、95.65 %	

※2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度〔平成31年4～令和2年3月〕 A	前年度〔平成30年4月～平成31年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	16,023,728	17,986,886	△1,963,158 89.08 %	
指定管理料	64,079,000	60,950,000	3,129,000、105.13 %	
事業収入	484,900	7,742,950	△7,258,050、6.2 %	H30は60周年事業が開催されたため
補助金及び助成金	50,000	100,000	△50,000、— %	
その他	157,375	187,853	△30,478、83.77 %	
合 計	80,795,003	86,967,689	6,172,686、92.90 %	

(2) 支 出

項 目	本年度〔平成31年4～令和2年3月〕 A	前年度〔平成30年4月～令和2年3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	22,497,120	20,809,455	1,687,665 108.11 %	
委託料	27,233,794	24,603,699	2,630,095、110.68 %	
施設費	16,359,299	17,681,818	1,322,519、92.52 %	

事業費	1,347,040	3,630,339	△2,283,299、37.10%	60周年記念事業の開催による
合計	63,437,253	67,227,447	209,806、94.36%	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成31年4～令和2年3月〕 A	前年度〔平成30年4月～平成31年3月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
① 事業収支	17,357,750	14,227,758	3,129,992、121.99%	
② 利用料金比率	18.96%	20.68%	△1.72%、91.68%	
③ 人件費比率	35.46%	28.61%	6.86%、123.94%	
④ 外部委託費比率	42.93%	33.82%	9.11%、127.08%	
⑤ 利用者当たり管理コスト	500	483	17、103.51%	
⑥ 利用者当たり自治体負担コスト	505	404	101、125%	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうかを確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎているか、又は費用がかかりすぎているかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（年度ごと下期に実施し、上期では行いません。）

項目	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	備考
①自己資本比率	57.7	51.0	55.1	44.9	62.8	
②流動比率	304.5	238.4	281.4	191.7	323.6	
③固定長期適合率	15.3	15.9	15.6	11.2	11.0	
④総資産経常利益率	-6.5	7.6	2.3	4.4	-0.5	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけ経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

■貸借対照表（例）

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

建物やトイレの場所が分かり難いとの意見に対し、看板を設置し対応。
また、駐車場についての苦情に対して新たな割引サービスを導入し対応。

6 利用者アンケートの結果

自主事業について概ね事業を支持する良好な結果であった。